

福岡市政担当記者各位

## 第46回 福岡市文学賞の受賞者が決定しました

第46回（平成27年度）福岡市文学賞の受賞者が決定しましたので、お知らせいたします。

### 受賞者氏名（敬称略）

- 【小説】相川 英輔（あいかわ えいすけ）
- 【詩】谷内 修三（やち しゅうそ）
- 【短歌】有中 房子（ありなか ふさこ）
- 【短歌】中島 行矢（なかしま いくや）
- 【俳句】夏木 久（なつき きゅう）
- 【川柳】山口 由利子（やまぐち ゆりこ）

### 福岡市文学賞について

#### 1 趣旨

文学の普及・振興に資するため、福岡市において文学活動が続けられている作家の中から、近年において特に優れた功績をあげられた方々を選考し、今後ともさらに福岡市の文学活動の充実・発展へ向けての推進力を発揮されるよう顕彰しているものです。【福岡市主催】

#### 2 贈呈式（関係者のみ出席）

日 時：平成28年3月19日（土）13時30分～

場 所：福岡アジア美術館 あじびホール（福岡市博多区下川端町3-1）

#### 3 記念作品集の刊行

受賞者の作品を収録した「記念作品集」を、4月中旬以降に福岡市総合図書館と各分館で貸し出します。（赤煉瓦文化館、情報プラザ等でも閲覧可）

#### 4 添付資料

- ・福岡市文学賞受賞者調書
- ・受賞者へのアンケート
- ・福岡市文学賞受賞者一覧
- ・福岡市文学賞選考委員名簿
- ・取材連絡先

#### 【問い合わせ先・担当】

経済観光文化局文化振興部文化振興課

担当 柴田・城後

電話：711-4665（内線1802）

受賞者調書

部門	小説
氏名・生年月日	<small>あいかわ えいすけ</small> 相川 英輔 (生年月日) 昭和52年6月29日生
	福岡市城南区
略歴 ・ 著書	○略 歴 平成12年 西南学院大学商学部 卒業 平成14年 西南学院大学大学院経営学専攻 修了 平成18年 学校法人中村学園入職、現在に至る  ○主な作品歴 平成15年 「余熱」福岡市民芸術祭賞（小説・戯曲部門） 平成17年 「打棒日和」九州芸術祭文学賞・全地区佳作賞 平成21年 「Reboot」九州芸術祭文学賞・福岡地区優秀賞 平成25年 「日曜日の翌日はいつも」坊っちゃん文学賞佳作賞 平成27年 「When the ship comes in」ダ・ヴィンチ「本の物語」 大賞最終候補
受賞理由	人間心理を捉える力に秀で、特に青春期の男女が障壁を乗り越えて成長していく姿を描く作風が高い評価を得ている。また、九州芸術祭文学賞などでの受賞の他、近年は同人誌にも寄稿して作品を発表している。

	詩
氏名・生年月日	<small>やち しゅうぞう</small> 谷内 修三 (生年月日) 昭和28年1月27日生
	福岡市中央区
略歴 ・ 著書	○略歴・著書 昭和51年 現代詩手帖賞受賞 昭和58年 福岡県詩人賞受賞（詩集『The Magic Box』） 平成14年 中新田文学賞受賞（詩集『逆さまの花』） 平成26年 『リッツォス詩選集一附：谷内修三「中井久夫の訳詩を読む」』 平成26年 詩集『雨の降る映画を』 平成26年 『谷川俊太郎の『こころ』を読む』 平成27年 詩集『注釈』
	詩集『注釈』は、自作の詩に注釈をつける形式をとった詩集である。詩について解説する過程の中に、更に詩を見出すという行為が魅力を生み、読者を引き付けている。

受賞者調書

部門	短歌
氏名・生年月日	<small>ありなか ふさこ</small> 有中 房子 (生年月日) 昭和11年2月8日生
	福岡市中央区
略歴・著書	○略歴・著書 昭和31年 福岡学芸大学福岡分校卒 昭和45年 <small>みやしゅうじ</small> 宮 終 二を特別講師とする短歌講座で学び始める 昭和48年 「コスモス短歌会」入会～現在に至る 平成27年 歌集『奈良屋小町』出版
受賞理由	44年間の作品2千首余りから、420首に絞って編まれた歌集『奈良屋小町』は、博多の風土と温かな人柄が全体から感じられ、読者の心を打つ。

部門	短歌
氏名・生年月日	<small>なかしま いくや</small> 中島 行矢 (生年月日) 昭和24年5月12日生
	福岡市城南区
略歴・著書	○略歴・著書 平成22年 「ポトナム短歌会」入会 平成24年 ポトナム論説賞受賞 平成25年 ポトナム白楊賞受賞 平成27年 第一歌集『モーリタニアの蝟』(本阿弥書店) 出版  ○参加 ポトナム短歌会・颯短歌会
	歌集『モーリタニアの蝟』は、寂しくて、ほろ苦い人生のもの悲しさが感じられ、味わい深く、優れた歌集として高く評価されている。

受賞者調書

部門	俳句
氏名・生年月日	夏木 久 (生年月日) 昭和26年9月26日生
	福岡市博多区
略歴・著書	<p>○略歴・著書</p> <p>平成10年 「銀化」参加</p> <p>平成21年 同退会</p> <p>〃 「連衆」「現代俳句協会」参加</p> <p>平成22年 「豈」「九州俳句作家協会」参加</p> <p>平成26年 「俳句新空間」WEB, 紙面共に参加</p> <p>平成27年 第47回九州俳句賞受賞</p> <p>〃 6月 句集「神器に薔薇を」上梓</p> <p>〃 9月 句集「笠東クロニクル」上梓</p> <p>平成28年 第3回攝津幸彦記念賞・大井恒行奨励賞受賞</p>
受賞理由	句集『神器に薔薇を』『笠東クロニクル』を出版。美術、音楽に対する造詣の深さからくる新鮮な感性は高い評価を受けており、福岡の俳壇に新風を吹き込むことを期待されている。

部門	川柳
氏名・生年月日	山口 由利子 (生年月日) 昭和17年2月24日生
	福岡市中央区
略歴	<p>○略歴</p> <p>昭和63年 川柳「土筆の会」に入会 川柳をはじめる</p> <p>平成18年 太宰府菊まつり川柳大会 特選</p> <p>平成20年 市民文芸 西日本新聞社賞 受賞</p> <p>平成22年 岩見沢「柳の芽」川柳大会 天位賞</p> <p>〃 第3回「安心ばい！水道水」川柳コンクール（福岡市水道局）優秀賞</p> <p>平成23年 第4回「安心ばい！水道水」川柳コンクール（福岡市水道局）最優秀賞</p> <p>平成24年 太宰府菊まつり川柳大会 特選</p> <p>〃 北九州芸術祭川柳大会 議長賞</p> <p>〃 八幡東区総合文化祭川柳大会 文化連盟賞</p> <p>平成26年 岐阜県川柳作家協会川柳大会（投句）優秀賞</p> <p>○句集</p> <p>平成22年 川柳句集「傾けてごらん景色も変わるから」を上梓</p>
受賞理由	約30年にわたり川柳に取り組み、各地の川柳大会でも多数の賞を受賞。誰にでも分かる平易な言葉でありながら、物事の本質や人情の機微を捉えており、ユーモラスで軽みのある句を持ち味としている。

## 受賞者へのアンケート

【 小説 】 相川 英輔

### 1. 文学活動を始められたきっかけについて教えてください。

読書好きが高じ、いつしか自分も物語を紡ぎたいと思うようになりました。

### 2. 師と仰ぐ方について教えてください。

Bob Dylan氏

### 3. 主な活動の場とされているものについてご記入ください。（同人誌等）

文学賞応募  
照葉樹二期

### 4. 著書について（出版年，出版社も含む）ご記入ください。

- (1) 「打棒日和」 平成17年 文藝春秋「文學界 四月号」
- (2) 「山の木」 平成22年 文芸誌「旅かばん 創刊号」
- (3) 「波と風」 平成27年 文芸誌「照葉樹二期 第7号」

### 5. 他の受賞歴についてご記入ください。

平成15年 「余熱」福岡市民芸術祭賞（小説・戯曲部門）  
平成17年 「打棒日和」九州芸術祭文学賞・全地区佳作賞(大賞なし)  
平成21年 「Reboot」九州芸術祭文学賞・福岡地区優秀賞  
平成25年 「日曜日の翌日はいつも」坊っちゃん文学賞佳作賞  
平成27年 「When the ship comes in」ダ・ヴィンチ「本の物語」大賞最終候補

### 6. 今までの文学活動の中で、印象的なエピソードについて教えてください。

執筆は地味で孤独な活動ですが、活動を通じて苦悩や喜びを分かち合える友人や、尊敬できる方と知り合うことができました。

### 7. ご自分の作品で好きなものについて教えてください。

納得できるものはまだありません。

## 受賞者へのアンケート

【 詩 】 谷内 修三

**1. 文学活動を始められたきっかけについて教えてください。**

池井昌樹の詩「雨の日のたたみ」を読んだこと。  
暗くて気持ちが悪かったので、違うことばを書いてみたくなった。

**2. 師と仰ぐ方について教えてください。**

いない。（好きな作家は、プラトン／ソクラテス）

**3. 主な活動の場とされているものについてご記入ください。（同人誌等）**

ブログ「詩はどこにあるか」 (<http://blog.goo.ne.jp/shokeimoji2005>)

**4. 著書について（出版年，出版社も含む）ご記入ください。**

詩集『The Magic box』（1982年、象形文字編集室）  
『天辺』（1984年、象形文字編集室）  
『最上の愉悦』（1989年、象形文字編集室）  
『ピック、パック、ポック、パック』（2013年、象形文字編集室）  
『註釈』（2015年、象形文字編集室）  
評論集『詩を読む詩をつかむ』（1999年、思潮社）  
『谷川俊太郎の「こころ」を読む』（2014年、思潮社）  
『リッツォス詩選集』（中井久夫との共著）（2014年、作品社）

**5. 他の受賞歴についてご記入ください。**

現代詩手帖賞、福岡県詩人賞、中新田文学賞（詩部門）

**6. 今までの文学活動の中で，印象的なエピソードについて教えてください。**

ブログに書いた感想の出版を谷川俊太郎と中井久夫の誘いで出版できたこと。

**7. ご自分の作品で好きなものについて教えてください。**

『最上の愉悦』の作品群

## 受賞者へのアンケート

【 短歌 】 有中 房子

### 1. 文学活動を始められたきっかけについて教えてください。

進学志望は文学部だったが、親の意向に添い家庭科にした。  
仕事と子育てに奮闘している内に30歳代も後半となっていた。  
昭和45年に短歌教室で受講、48年に「コスモス」に入会。  
学生時代からの夢が叶った思いで出詠した。

### 2. 師と仰ぐ方について教えてください。

宮終二<sup>しゅうじ</sup>、白秋の最後の内弟子で「コスモス」の創始者。  
創刊の理念「みづからの生の証明を」に触発された。

- ・中国に兵なりし日の五ヶ年<sup>あ</sup>をしみじみと思ふ戦争は悪だ（一兵卒として従軍）
- ・一本の蠟燃<sup>ろうもや</sup>しつつ妻も吾も暗き泉を聴くごとくある（戦後の停電のころ）

### 3. 主な活動の場とされているものについてご記入ください。（同人誌等）

- ・コスモス（月刊誌） 毎月10首出詠
- ・水城（福岡支部報） 3ヶ月毎 5首・歌評など

### 4. 著書について（出版年，出版社も含む）ご記入ください。

「奈良屋小町」平成27年 3月20日発行 本阿弥書店

### 5. 他の受賞歴についてご記入ください。

福岡県，市・短歌大会

宮終二文学館 //

北原白秋祭 //

太宰府天満宮 //

} 大会賞・選者賞など

### 6. 今までの文学活動の中で、印象的なエピソードについて教えてください。

金銭のやりとりや世知辛い仕事は短歌の素材にならないと思っていたが、所属するコスモスの理念は「自らの生の証明を」なので、これを避けては私の歌にならないと気付いた。仕事の折衝やトラブルで怯む時も今日の事を歌に詠もうと思いついて直して出掛けては、短歌に助けられた。生粋の博多者ですから地元のことを詠む時に思い入れが過ぎるので抑制し、淡々と描写するようにつとめた。

### 7. ご自分の作品で好きなものについて教えてください。

- ・締込みを結びやる掌に伝ひ来ぬ祭に逸る吾子のときめき
- ・仕事用と短歌用なる手帳二冊生き分くるごと今朝も携ふ
- ・留学生イマムの部屋で生まれし子を抱けば天馬のごとき瞳す
- ・やぶらんの淡きむらさき老い母に奈良屋小町といふ昔あり

## 受賞者へのアンケート

【 短歌 】 中島 行矢

**1. 文学活動を始められたきっかけについて教えてください。**

私自身や世の中について、何か新しいものを発見出来るのではないかと思い短歌をはじめました。

**2. 師と仰ぐ方について教えてください。**

青木昭子先生（ポトナム短歌会・颯短歌会）

**3. 主な活動の場とされているものについてご記入ください。（同人誌等）**

ポトナム短歌会・颯短歌会

**4. 著書について（出版年，出版社も含む）ご記入ください。**

この第一歌集『モーリタニアの蝟』（2015年発行 本阿弥書店）のみです。

**5. 他の受賞歴についてご記入ください。**

ありません。但し、結社（ポトナム短歌会）内白楊賞（短歌）及び論説賞（短歌小論）受賞。

むかし、北九州詩人協会奨励賞（詩作）を頂いたことがあります。

**6. 今までの文学活動の中で、印象的なエピソードについて教えてください。**

青木昭子第一歌集『百年橋』を百道の市総合図書館の郷土コーナーで見つけ、全篇を筆写したこと。

**7. ご自分の作品で好きなものについて教えてください。**

第一歌集『モーリタニアの蝟』

## 受賞者へのアンケート

【 俳句 】 夏木 久

**1. 文学活動を始められたきっかけについて教えてください。**

美大に進学できなかった反動と後悔から、より美術性、絵画性の高い文芸（詩から俳句へと）に傾倒してゆく。しかし今では、言葉そのものの神秘性と美性に嵌まっている。

**2. 師と仰ぐ方について教えてください。**

師は無し。但し、攝津幸彦と富澤赤黄男を紹介され多いに傾倒する。また、谷口慎也氏、秦夕美氏、筑紫磐井氏、大井恒行氏に攝津幸彦ら刺激的な作家を紹介され、テーマを与えられ、薫陶を受け、多大な影響・示唆を頂いている。そして松岡耕作氏を始めとする現俳幹部・先輩・誌友・句会仲間にも大きな刺激を貰っている。皆が師と呼べるかもしれない!!

**3. 主な活動の場とされているものについてご記入ください。（同人誌等）**

「豈」「連衆」「九州俳句」その他現代俳句協会関係

**4. 著書について（出版年，出版社も含む）ご記入ください。**

平成27年 「神器に薔薇を」（夏気球舎・私家版）

平成27年 「笠東クロニクル」（夏気球舎・私家版）

平成29年 「第3句集」準備中（検討中）

**5. 他の受賞歴についてご記入ください。**

平成25年 福岡市民文芸（俳句）福岡市長賞

平成26年 福岡市民文芸（俳句）読売新聞西部本社賞

平成27年 福岡市民文芸（俳句）大賞

平成25年 第2回攝津幸彦記念賞・佳作 他

**6. 今までの文学活動の中で、印象的なエピソードについて教えてください。**

退会した俳誌の方が、作品傾向・句風が大きく変わっても私の俳句を面白がり、影響を受けると言ってくれている。こんなにありがたい事は無い!

**7. ご自分の作品で好きなものについて教えてください。**

次の作品を考えている時が一番好き!かも…

## 受賞者へのアンケート

【 川柳 】 山口 由利子

**1. 文学活動を始められたきっかけについて教えてください。**

初投句は家族の大病や義母の介護に追われる日々の中でした  
沈みがちな心を励まし時には明るく表現する十七音の文学  
「川柳」の奥深さにひかれ今日に至ります

**2. 師と仰ぐ方について教えてください。**

故 鷹野青鳥氏（西日本新聞ニュース川柳元選者）

**3. 主な活動の場とされているものについてご記入ください。（同人誌等）**

博多番傘川柳会 番傘川柳本社 川柳<sup>あしぐん</sup>葦群  
福岡番傘勉強会 土筆の会 千里川柳の会

**4. 著書について（出版年，出版社も含む）ご記入ください。**

山口由利子川柳集  
「傾けてごらん景色も変わるから」  
2010年2月24日出版 有限会社（<sup>かいちょう</sup>海鳥社）

**5. 他の受賞歴についてご記入ください。**

H18年 太宰府菊まつり川柳大会 特選  
H20年 市民文芸 西日本新聞社賞 受賞  
H22年 岩見沢「柳の芽」川柳大会 天位賞  
〃 第3回「安心ばい！水道水」川柳コンクール（福岡市水道局）優秀賞  
H23年 第4回「安心ばい！水道水」川柳コンクール（福岡市水道局）最優秀賞  
H24年 太宰府菊まつり川柳大会 特選  
〃 北九州芸術祭川柳大会 議長賞  
〃 八幡東区総合文化祭川柳大会 文化連盟賞  
H26年 岐阜県川柳作家協会川柳大会 優秀賞

**6. 今までの文学活動の中で，印象的なエピソードについて教えてください。**

私が句の表現に悩んでいた時 今は亡き個性豊かな女性川柳作家との出逢い  
がありました  
「堂々と自分の句を詠みなさい」ご自身の川柳を熱く語られた事など…  
コーヒーの香りと共に流れた至福の刻であったと今も懐かしく思っています

**7. ご自分の作品で好きなものについて教えてください。**

<sup>はな</sup>桜の下に問わず語りの<sup>もと</sup>闇がある  
この星に生きて出逢って恋をして

## 福岡市文学賞受賞者一覧

回 (年度)	小説		詩		短歌		俳句		川柳	
1 (45)	白石一郎	男・40	滝 勝子	女・45	内田さち子 江上栄子	女・69 女・40	松尾しのぶ 松田洋星	女・46 男・64	日下部舟可 龍興秋外	男・60 男・64
2 (46)	夏樹静子	女・33	境 忠一	男・41	白水 廣 大野素子	男・65 女・47	古賀寿代 古賀青霜子	女・42 男・58	安武仙涙 鷹野青鳥	男・67 男・50
3 (47)	岩井 護	男・43	山本哲也	男・36	田鍋はじめ 鳥巢太郎	女・70 男・65	今村俊三	男・45	島 垢吉 高木千寿丸	男・64 男・45
4 (48)	井上寛治	男・37	柴田基典	男・45	三上りつよ	女・64	岡部六弥太 林 十九楼	男・47 男・55	山見都星 大和柳子	男・47 女・41
5 (49)	角田嘉久	男・56	片瀬博子	女・45	佐藤 秀	男・60	城谷文城 植木京雛子	男・75 男・72	那津晋介 谷岡不可止	男・50 男・59
6 (50)	—		高松文樹	男・50	中野与八郎 吉武俊子	男・54 女・56	西本弥生 伊藤てい子	女・45 女・60	中田竹葉子 林 千代子	男・62 女・52
7 (51)	大塚幸男	男・67	江川英親	男・45	山崎正夫 恒成美代子	男・43 女・33	一田牛畝 山城寒旦	男・69 男・82	吉田四馬路 森 真吾	男・65 男・52
8 (52)	石沢英太郎	男・61	崎村久邦	男・48	酒井 直 近藤隆司	男・72 男・51	伊藤通明 菊川芳秋	男・42 男・51	土居一亭	男・67
9 (53)	—		石村通泰	男・54	中村法翠	男・63	笠怡土子 佐々木菁子	男・79 男・70	小野杏子 山見いく子	女・42 女・54
10 (54)	青海静雄	男・57	山口 要 ※門田照子	男・62 女・44	橋本 満 山埜井喜美枝	男・63 女・50	城内里風 鮫島春潮子	男・70 男・66	杉原新二 佐々木義雄	男・58 男・50
11 (55)	河野信子	女・53	野田寿子	女・53	澤田藤一郎 音成京子	男・86 女・53	林 澄山 辻 文子	男・67 女・62	樋口祐海 武藤端こ	男・63 女・46
12 (56)	土井敦子	女・55	清水多み子	女・57	桑原廉靖 松下静祐	男・66 男・51	小島隆保 平田羨魚	男・61 男・70	早良 葉 播磨圭之介	女・52 男・48
13 (57)	北田 倫	女・65	麻田春太	男・40	三宅愛子 榊谷啓市	女・71 男・71	的野冷壺人 秦 夕美	男・76 女・44	江藤けいち 一鬼ふく世	男・61 女・52
14 (58)	杉本章子	女・30	有田忠郎	男・55	福山喜徳	男・66	井尾望東	男・70	末松仙太郎	男・67
15 (59)	佐渡谷重信	男・53	金子秀俊	男・50	江嶋寿雄	男・74	山崎富美子	女・64	野田はつ	女・59
16 (60)	東野利夫	男・59	龍 秀美	女・37	久津 章	男・58	高田律子	女・55	近藤ゆかり	女・35
17 (61)	明石善之助	男・55	福間明子	女・38	加藤 悟	男・57	足立律子	女・57	荒 幸介	男・61
18 (62)	岸本みか	女・53	坂田燐子	女・43	朝倉 恭	男・59	藤崎美枝子	女・72	大場可公	男・62
19 (63)	久丸 修	男・50	今村嘉孝	男・55	藤田 潔	男・81	志摩一平	男・78	富永紗智子	女・51
20 (元)	片山恭一	男・31	—		隈 智恵子	女・56	坪井芳江	女・69	鷹野五輪	女・63
21 (2)	吉岡 紋	女・58	古賀博文	男・33	本村正雄	男・74	檜崎六花	男・70	中尾好郎	男・66
22 (3)	重松泰雄	男・69	吉田まり子	女・43	櫻井ツ子	女・83	鮫島康子	女・73	真島十三枝	女・58
23 (4)	原口真智子	女・41	荒木 力	男・78	溝上桓子	女・70	一丸文子	女・67	森 雷音	男・63
24 (5)	松本文世	女・68	月岡祥朗	男・58	久仁 栄	男・74	松本ヤチヨ	女・50	板木継生	男・77
25 (6)	織坂幸治	男・65	羽田敬二	男・68	大野展男	男・70	柴田佐知子	女・46	藤田菁彦	男・72
26 (7)	西村聡淳	男・67	鈴木 薫	女・37	藤渡由久子	女・64	野中亮介	男・38	松本百子	女・63
27 (8)	持田明子	女・55	松田軍造	男・76	清水修一	男・74	長崎島星	男・60	野崎輝俊	男・67
28 (9)	高光巳代子	女・52	吉貝甚蔵	男・39	木原昭三	男・69	木村風師	男・78	熊谷孝子	女・66
29 (10)	西田宣子	女・53	樋口伸子	女・56	青木昭子	女・62	北 きりの	女・77	井手典生	男・68

## 福岡市文学賞受賞者一覧

回 (年度)	小説		詩		短歌		俳句		川柳	
30 (11)	杉山武子	女・50	田中圭介	男・56	江頭慶典	男・71	大里泰照	男・68	平川店村	男・68
31 (12)	納富泰子	女・55	渡辺玄英	男・40	原田純子	女・74	賀来章輔	男・70	谷川定子	女・68
32 (13)	樋脇由利子	女・50	岡たすく	男・76	諸岡史子	女・58	朝田魚生	男・72	森志げる	男・80
33 (14)	和田信子	女・65	上野眞子	女・71	長野瑞子	女・74	田代朝子	女・69	伊豆丸竹仙	男・77
34 (15)	天谷千香子	女・67	石川敬大	男・51	末房長明	男・64	尼崎滯	女・71	山田よしこ	女・71
35 (16)	有森 信二	男・56	井本 元義	男・61	藤野 早苗	女・42	服部 たか子	女・62	大塚 純生	男・82
36 (17)	紺野 夏子	女・56	片桐 英彦	男・63	桜川 冴子	女・44	松岡 耕作	男・70	坂本 浩子	女・72
37 (18)	貞刈 みどり	女・76	田島 安江	女・61	小島 恒久	男・81	杜 あとむ	女・41	小川 清隆	男・71
38 (19)	鈴木 比嗟子	女・70	柿添 元	男・90	福間 妙子	女・84	池松 幾生	女・70	長崎 榮市	男・69
39 (20)	森 禮子	女・80	脇川 郁也	男・53	木場 君代	女・75	立石 京	女・70	小池 一恵	女・65
40 (21)	小河 扶希子	女・68	尚 泰二郎	男・60	山崎 つぎの	女・81	三船 熙子	女・66	敷田 無煙	男・75
41 (22)	渡邊 弘子	女・72	秋山 喜文	男・78	取違 克子	女・67	池田 昭雄 池田 守一	男・84 男・80	長井 すみ子	女・73
42 (23)	坂口 博	男・58	おだ じろう	男・77	—	—	—	—	—	—
43 (24)	—	—	—	—	池野 京子	女・81	田代 素人	男・82	布谷 ゆずる	男・88
44 (25)	水木 怜	女・71	鍋山 ふみえ 大原 美代	女・63 女・73	新谷 休呆	男・62	大里 えつを	男・71	中村 鈴女	女・76
45 (26)	芝 夏子	女・40	門田 照子 山本 美重子	女・79 女・63	高田 明美	女・79	中村 祐子 馬場 公江	女・79 女・49	森園 かな女	女・80

◎ 氏名、年齢は受賞時のもの。 ◎ ※印は、奨励賞

福岡市文学賞選考委員名簿（平成28年2月16日現在）

役職	部門	氏名
委員長	詩	龍 秀美
副委員長	俳句	野中 亮介
委員	小説	深野 治
委員		鈴木 比嗟子
委員		井手 俊作
委員	詩	田中 圭介
委員		樋口 伸子
委員	短歌	桜川 冴子
委員		藤野 早苗
委員		山笠井 喜美枝
委員	俳句	田代 朝子
委員		松岡 耕作
委員	川柳	布谷 ゆずる
委員		真島 十三枝
委員		富永 紗智子